

新政会

代表 石河良一郎 惠一 夫 義衛 重 嘉映 信 介 一 郎
池田 井谷 川浪 大 同 野村 早川 松尾 松本 吉浪

17年度予算の財源確保を どうするのか

市長 ▼ 滞納税の徴収方法を検討する

問 17年度予算は交付税等削減が予測される中で、財源確保をどうするのか。

市長 ▼ 税の滞納分の徴収方法を検討していきたい。また、観光振興を図り、

入湯税の増収も期待する。企業誘致も手ごたえを感じているところもあるが、今ある企業が大きくなるような環境整備を考えていきたい。

ている。情報の管理は総務課で管理しているが、現在検証中である。洪水予測図はまだ作製されていない。

問 国際友好都市と国際交流について伺う。京丹後市の企業も中国、タイ、ベトナムへと進出する企業が増えているが、友好都市の提携の考えがあるのか。また、京丹後市の子供達に国際交流事業を実施する考えがあるのか。

めて色々な所を視野に入れないながら、市として取組む環境整備を考えたい。**教育長 ▼** 国際交流については必要と思う。来年度は社会教育の中で実施したい。



台風23号により陥没した府道

市長 ▼ 当地は繊維どころである。ヨーロッパも含

問 丹後町と弥栄町が、薬草を利用して町おこしを京都府の補助を受けながら実施しているが、市として引き継ぐ考えはないのか。

市長 ▼ 魅力的に感じている。研究会等で引き継ぐ方向で考えたい。

17年度米政策を問う

市長 ▼ どんどん作っていたら



堤防決壊による土砂・石の流入、川床の上がった川上谷川

問 新たな米政策は、需要量と生産量(851万トンを一致させる。余剰米が出たらオーバー分を隔離する。17年度米作り対策を問う。

市長 ▼ 丹後のおいしいお米、魅力あるお米なので、「こだわり米」としての基準をつくり、手上げ方式で作ってもらう。こだわり米作りには、目標面積をとつばらつて無制限に作ってもらおう。

問 余剰米が出たら。市長 ▼ こだわり米の米作

問 23号台風は猛烈な雨と風の甚大な被害が出ている。雨量計の設置場所

りを進めるとある時点で国府との調整も必要だ。行政が販売先を探すという事もあり得る。作り手が魅力ある米作りをすることで、農地も担い手に集まってくる。

台風被害と復興について

問 23号台風は猛烈な雨と風の甚大な被害が出ている。雨量計の設置場所

風力計の設置箇所の見直し。市長 ▼ 十二分に検討し今後の防災計画に役立てたい。

人材育成と職員の 勤務評定を問う

市長 ▼ 現在諸準備を進めている

問 国から地方へ配分する補助金や地方交付税を削減・廃止する代わりに国税を地方税に移し替える三位一体改革の中で、地方自治体の今後の行政運営の狙いは。またこれまで、各地方自治体が国に対し、お任せ政治をやってきた。

問 新任政治から脱却して、地方が、我が地域の身の丈に合った地方の政治を確立しなければならない。それには将来的にも一般社会、地方、地域においてリーダー的人材育成を考える上で、元気のある地方、地域づくりをしなければと思う

が、市長の考えを問う。**市長 ▼** 国から地方へ権限的にも、財源的にも三位一体の特色ある流れの中で、自立した地方が求められている。そういう中で市民と協働した行政、また地方の町づくり等、色々な事に取り組まねばならない。市民の中から力を出していただける方々が各所、各所にたくさん出て下さることを望んでいる。

問 京丹後市幹部職員の権限、主権、責任において輝かしい活力ある市政向上と、職員の資質を図る上で、職員の勤務評定を実施する必要があると思われるが、市の考えを問う。

助役 ▼ 職員の勤務評定については、地公法第40条第1項で職員の職務について、定期的に勤務成績の評定を行い、評定の結果に応じた有効な処置を講じなければならないと規定されている。職員の指導、監督の有効な指針としていく、すでに評定



地方分権と三位一体改革で果たして市民の暮らしは良くなるのか！

交通安全協会再編に 指導と援助を

市長 ▼ 市民との協働で支えたい



交通弱者もハッスル！恒例の高齢者安全運転大会(竹野郡交通安全協会主催)

問 警察署の再編で、17年度から京丹後市警察署が誕生するが、交通安全協会も一本化の方向で再編整備に努力されている。しかし、

財政問題を抱えて大変な状況だと聞か、その認識と、市としての指導・援助の考え方は。

市長 ▼ 交通安全協会の働き、機能は、京丹後市の交通安全分野における安心心を確保・充実していく上で欠かせないし、その重要性はますます増

していると考ええる。行政として、協会活動が損なわれることがないような環境づくりが必要だと考えているが、市民との協働という考え方の中で、行政と市民が知恵を出し合って、協会活動を支えていきたい。

京丹後学生会館構想
問 丹後地域に大学があれば、親の経済負担や教

育文化の振興、地域の活性化に多大の影響があり、大学誘致は新市の夢であり課題だ。現実的な提案として、丹後学生の宿舎「京丹後学生会館」を京都に新設してはどうか。

高卒者の7割が進学する時代、その半分近くが京都近辺に学んでいると思うが、親の経済負担は大変だ。

京丹後市合併記念で、合併特例債を活用したり、JA等金融機関の協力や

都市計画区域の見直しは

市長▼「都市計画マスタープラン」策定から

問 都市計画区域の見直しの進捗状況は、いつ区域決定をするのか、その見直しは。

また旧網野町の一部と峰山町だけあった都市計画区域を今後、京丹後市全体に広げていかなければならないと思うが、その作業の進捗状況は。

市長▼都市計画を総合的に検討し、各種の「基礎調査」を行った上で、都市計画マスタープランを、平成17年度から3年間程度かけて策定する予定でいる。

問 各市民局の機能と役割をどう評価し、今後どう位置づけていくのか。

市長▼市民局の機能は大切であると思っている。また現在の市民局のあり方には問題点も多く見られるので、改善する方向で検討を進めていくことにしている。

問 京丹後市の各地区に伝わる伝統芸能の保存と継承について、どのように考えているのか。

教育長▼市内には京都府指定の無形文化財14件あり、その保存と活動については厳しい財政状況である。その地区の保存会等のご理解とご協力を、大切に行きたいと考えている。



京都府登録の無形文化財
(峰山町五箇の三番叟)

財政の健全化を

市長▼活力を失わない改革を進めたい

問 鳥取県の片山知事は就任後、財政の厳しさを訴え相次いで大型事業を中止したが、京丹後市財政はどうか。

市長▼類似規模の他市と比べて財政上の数値は極めて悪く、厳しい状況が見込まれる。

問 さぬき市は5万6千人で28億円の公債費だが、京丹後市は56億円もあり、財政を硬直化させているが。

市長▼公債費が少なくな

かねばならない。備えとして、基金を残すことが必要だが。

市長▼基金は必要だが、今年でほとんどない。目標を定めて計画する。

問 平成18年度より、起債協議制度となる。また、地方再建法試案が作成されるなど、地方の責任が重くなるが。

市長▼ご指摘の通り、たいへん厳しい状況であり、

きつちり目標を定め、着実な改革を進めていく必要がある。

問 昭和の大合併を含め、支所方式は権限の不明確さなどによりすべて縮小・廃止となっているが、北上市などの分庁舎方式は、地域から行政がなくなるという不安を解消し、市役所の建設もないが。

市長▼本庁と支庁・本庁内部のあり方など、考えねばならない。検討の対象のひとつ。

問 多くの自治体で総人

件費を抑える取り組みがなされている。合併後10年で交付税算定の特例も切れ、さらに財政は厳しくなる。京丹後市も抑制が必要。

市長▼当市のラスパイ指数は95と低い、人件費が予算の20%強であり、課題とならざるを得ない。官民格差なども考慮して、活力を失わない適正な規模の人件費を探っていく。

丹友クラブ

代表 谷口 正博
岡田 修久
原 久亨
森口 亨

防災は地域の力

市長▼市民のための組織を検討する

問 消防団が自然災害に立ち向かう安全対策など、指示する立場としてどの

ように考えているのか。自主規制や訓練などで安全教育を徹底させる必要

があるのではないかと。市長▼消防団の勇気ある行動には感謝している。細心の注意を払い、二次災害が起きないように万全の対策を考える。

ハザードマップ作成について

問 災害への備えや避難勧告の判断材料にするために、ハザードマップ(被害予想図)の作成が急務であるが。

市長▼危険な地域を知っている市民の意見を聞き、

市民のためのハザードマップを作成する。

災害ボランティアについて

問 災害に強い町づくりをするために、女性の参加協力が必要だ。市社協で取り組まれている福祉救援ボランティアコーディネーターの設置については。

市長▼災害弱者の安否確認など大変重要である。自主防災組織や消防団との連携を図り、市民のた

めの組織体制を検討する。

問 被災者支援や災害復旧の相談は、市民局で一元化できるのか。

農林部長▼農林関係の窓口は、全て市民局で対応する。

問 激甚災害制度の指定は受けたか。

農林部長▼農林関係は適用された。通常の補助率より大幅にアップされるので、受益者負担はかなりの少なくなる。農林災害復旧は、農業用関連施設を優先させる。



危機一髪 市内がけ崩れ多発

行政が作る行政のための防災計画にならないように

市長▼官民共同で作成したい

問 防災計画は、どのような方法で、どのような過程で作成しているのか。

の計画にならぬように、仕組みを作るべきではないか。

市長▼素案ができた時点で、市民の皆さんに開示し、いろんなご意見を伺いながら、皆が信頼できる計画にしたい。

問 防災は、各組織でできることを考えていく必要があるが、行政がしな

ければならないことは、減災であると考えているが。

市長▼事前に河川改修をするなど、インフラ整備(減災対策)が大切なことだと思う。

問 市民の防災意識を高めるための、防災人づくり「防災大学」など、防災知識を習得できるように、仕組みづくりが必要ではないか。

市長▼課題もあると思うが、必要なことだと考える。方法などを充分考慮し、検討する。

防災基本条例の制定を

問 条例制定は、政策の決定実施、評価を適正な手続きで実施するための法的保障でもあり、実務的には、組織予算制度を行政内で獲得する強力な根拠となるのでは。

市長▼防災計画を完成させていく過程で、全部の事項を記載するのは難しい。条例を制定することで補えるような方法があれば、興味を持って考えていきたい。



問 21号による住宅周辺に崩れ落ちた土砂の除去についても支援を。

市長 ▼法律を超えてすることにはかなり無理がある。

問 水産業へ

台風被害への支援について

市長▼府とともに支援する

の支援は資金融資ということだが、被害の実態に見合っていない。

カキが大被害を受けている。〃カキ・魚まつり〃も中止し、カキのオーナーにはお金を返している。ぜひ現地を見て支援を。

市長 ▼ 大変な被害。だと
思っている。府とよく相

いるが、流失でないと適用されない。

市長 ▼府と力を合わせ、どういうことができるか検討したい。

問 中小企業者への支援は、金融機関に融資をさせるというだけでなく、市独自の融資、市の判断で貸せることのできる融

資が必要だと思うがどうか。

商工観光水産部長 ▼市独自の融資というのは難しい。

問 山崩れ防止対策が1世帯・2世帯のところでもできないか。

農林部長 ▼林地崩壊防止事業というのがあり、これは工事費200万円以上、2戸以上という制度だ。

市長 ▼何戸にかかわらずほっておけないので京都府によく伝える。

問 今、子供達は誘拐や殺人などに脅かされ生命への危険にさらされている。

峰山地域では、20名以上が学童保育所に入所できずに一人で放課後を過

学童保育の拡充を

市長 ▼ 施設の確保が難しい

日本
共産党

代表 森 勝
平林智江美
松田 成溪

ごさなければならぬ。
大変危険であり、早急に入
所枠を広げるべきである。
市長▼ただちにやりたい
が、施設の確保が難しい。
来年度の実施にむけて探
し続ける。

問 国の三位一体改革で
削減される国庫補助負担
金の7割は、福祉と教育
関係である。今年実施さ
れた公立保育所運営費の
削減で、4割の市町村で
は、保育料値上げなどで
住民に転嫁された。どう
考えるか。

市長▼財源が減らされないように、都会と地方のバランスをとるよう、いろんな機会でお願いを続ける。

問 近隣の見舞金は、全壊で舞鶴が20万円、宮津が10万円、京丹後市は5万円である。

台風被害への支援策は最優先し、見舞金についても、義援金を使って上乘せすべきた。

市長▼義援金の使い道は他市との状況も見ながら早急に委員会等で検討し

ていく。

問 見舞金は年内に届けることができるか。

市長 ▼ぜひそうしたい。

問 台風被害の後かたづけに、職員で対応できるからと、ボランティアセンターの設置がされなかったがなぜか。

市長 ▼ご指摘の通り、課題として残っている。

問 11月29日に国へ、写真も示しながら市民の声を届けてきた。

「現場の声を聞いて柔軟な対応を」であった。



市長▼現場の生の声を届ける事は大切である。



包括医療ケア体制の確立は

市長 ▼ 地域振興策として医療福祉の充実

問 豊かな自然を活かした医療・福祉施設の充実こそが、地域振興や、若者に働く場の提供もでき、少子化対策や町づくりの一環と考

える。行政主導による包括医療ケア体制の確立や、市民病院だけでなく、ふるさと病院・丹後中央病院との連携による医療体制の整備充実が図れないか。

市長 ▼高齢化が進むなか、地域の病院との連携は必要であり、医療審議会で

高齢者が老後を過ごせるまちとして、都会の定年後のＵターン者等に、情報発信できないか。

市長 ◆医療・福祉は、多面的にも、町づくりの核として考えている。

市長▼府と協議をして、前向きに対応していきたい。

問 幼児期から就労までを一環してフォローする体制づくりを望む。

教育長▼現在では、ことばの教室で対応している内容を、今後充実させていきたい。

網野・甲山駅に屋根付き駐輪場設置を

問 甲山駅は冬季、駐輪の降雪対策として、パイプハウスでしのいでいるが管理が大変だという。屋根付き駐輪場設置の計画は。

生活環境部長 ▼財政の苦しい中ではあるが、今後検討していきたい。



財源確保の具体策は

市長▼あらゆる努力をしたい

問 予算を編成する上で、国・府の補助金など、あらゆる財源を求めるべきだと考えるが、具体策はあるか。

市長 ▼財源確保については、あらゆる努力をしたと思っています。現在は徴収強化月間などで収納率の向上に取り組んでいます。

る。また、市有財産の活用や入湯税のあり方についても検討していきたい。

問 行政窓口の人間関係は効率だけでは評価できない。市民の声を反映し、現地・現場主義の徹底を図り、緊急時に即応するためには、市民局を営業所、本庁を本社工場と位

非常に重要だ。執行についても、創意工夫をもって市民に奉仕できるように検討したい。

問 集落をサポートする担当職員の配置は、市長 ▼ 防災については、いざという時の対応になるので有効に機能すると思う。防災計画の策定時

支援制度の相談窓口を一元化し、その方に適した制度をまとめて説明できる体制をとるべきと考えるが。

市長 ▼ そのとおりだと思う。被災された方にとつては、どこの制度かは関係なく、どんな支援が受けられるかが問題だ。支

援情報もその観点で作成、広報してきた。窓口を設置するにあたっても、市民の立場に立ち、少なくとも道案内はできるようにしたい。

行政視察報告

視察日
(16.10.14～10.15)

総務常任委員会

大下倉	禎介	松本	経一
池部	皓三	石河	良一郎
奥野	重治	田茂井	誠司郎
原	久	平林	智江美

市税、国保税の減免が大幅減と なっている申請書の簡潔化を

市長 ▼ 考えたい勉強もしたい

問 生活保護の申請は口頭でも有効か。

保健福祉部長 ▼ 客観的に申請の意思が確認できれば有効である。

問 国保税の医療費一部負担免除制度は国保税減免制度のように家族全員の調査同意書を求めるのか。

生活環境部長 ▼ 11月より告示していたが同意書は求めない。
問 市税、国保税の減免件数が昨年対比4分の1以下に減っているが、旧弥栄町の方式(家族の同意書、可否事前調査の提出)を採用したのが原因ではないのか。
旧弥栄町は15、16年と

も申請がゼロで、そのことを証明している。
総務部長 ▼ なぜ減ったのかわからないが、制度の周知の必要があると思う。

問 弥栄町方式は減免件数を減らすべく採用したと違うのか。市長は9月の答弁で申請者に配慮するやり方を、よく話し合っている必要があると答えていたが、申請者を訪問したのか。
総務部長 ▼ 訪問は1件もしていない。申請書のみ

で可否を決めている。
問 机の上のみでの判断では恣意的にもなりかねない可能性が高い。国保税減免条例には同意書、調査書の提出を求めている。条例、法律違反だ。その上 unnecessary なものも求めている。撤回すべきだ。
市長 ▼ 条例の主旨と違う場合はだめだと思う。弥栄方式と他の違いを話して欲しい。
問 他町は条例どおり申請書に氏名、住所、税額、減免を受けようとする理

由だけでよい。
市長 ▼ 申請件数の差から見て他の有効な方式があれば考えても良いと思う。指摘されたので勉強はしていきたいし、話し合いもしたい。



福祉の拠点「福祉センター」

意見書

平成17年度 地方交付税所要総額確保に 関する意見書

平成16年度政府予算においては、地方交付税及び臨時財政対策債の大幅な削減により、地方財政運営に支障を来たとともに、地方の信頼関係を損ねる結果となった。

平成17年度政府予算編成においては、平成16年度予算のような大幅な削減が行われることのないよう、国は誠実に対応し、国と地方の信頼関係を構築し、住民サービスの低下を来たさないようにすべきである。

よって、国は、平成17年度政府予算編成に当たり、「地方交付税の所要総額」が確実に確保されるよう、以下の事項についてその実現を求めるものである。

(全員賛成)

【提出先】 内閣総理大臣他

請願

◎最低保障年金制度の実現を求める請願

【請願者】 全日本年金者組合丹後支部

代表 岡下 宗男

(賛成少数で不採択)

◎京丹後市のすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を行うため、30人学級、教育予算増額、教育条件整備、教育費父母負担の軽減等を求める請願

【請願者】 子どもと教育を語る丹後の会

顧問 岩崎 晃

(賛成少数で不採択)

富山県八尾町及び滑川市の ケーブルテレビの取り組みについて

八尾町

富山県の中央南部に位置し、面積約236²km、人口2万2332人で全体の80%が山間地である。初秋の「おわら風の盆」を代表とする江戸時代の町民文化を有し、伝統と文化を継承する町でもある。

▽整備と運営

テレビ難視聴区域829世帯の解消と、高度情報化の進展への対応のため、事業費55億5000万円をかけて町単独で整備し、運営は第三セクターが行っている。

▽加入率と内容

加入率は96%。毎月の利用料無料コースから、月4200円の最大69チャンネルのコースもある。特に地域の行事のお知らせなどを、音声告知や文字放送などで行い、また運動会の様子を放映するなど地域密着の自主番組を制作している。

滑川市

富山県の中央部からやや北東寄りに位置し、面積55²km、人口3万3363人で富山湾に面する扁状の緩やかな平坦地で、売薬が現在も重要な産業の一つとなっている。ホテルイカが有名。

▽整備と運営

周辺自治体2町と合同で一部事務組合を結成し、37億円で整備した。エリア人口は8万6000人。面積は580²kmと広域である。職員は市から出向している。

▽加入率と内容

加入率は滑川市では37%にとどまる。広域のために滑川市独自の自主放送は制作しにくい。利用料は月2500円。加入促進のため、加入料無料キャンペーン中。

▽視察所見

八尾町については96%の加入率を活かし、音声告知、自主番組制作など、町のテレビ局として定着しているが、一方の滑川市においては、地域が広域であるために地域密着の自主番組が作れないことも加入率が低い要因の一つと考えられる。事業の完成までに膨大な費用を要する京丹後市においては、住民の理解をいかに得るかが問われると思われる。



ケーブルテレビ八尾放送センター室

行政視察報告

文教建設常任委員会

視察日
(16.10.13~10.15)

吉浪芳郎今度弘
池田惠一早川雅映
松本信之森口亨
行待実

▽視察内容
国も下水道・合併浄化槽・農業集落排水事業など別々に設定されていた補助金制度を、汚水処理普及対策助成金制度に一本化するなど、地域の状況に合わせた選択を推進している。牧丘町においては、市町村が設置する合併浄化槽を、10人槽で設置時の市民負担8万円、月々の管理費3500円で黒字運営している状況等実態を確認できた。

▽視察所見
京丹後市としては、財政状況や地域の状況も勘案しつつ、環境対策促進にむけて早急に水洗化を推進すべきである。

▽視察内容
東京都武蔵野市及び品川区においては、平成4年度から実施されているセカンドスクール（小学校5年生で7泊8日の自然体験学習等）や、幼保一元化についてプロジェクトチームを立ち上げ、幅広い視点から検討、実践している状況を視察した。

▽視察地
山梨県牧丘町
環境省浄化槽推進室

▽視察テーマ
「下水道・合併浄化槽等の水洗化」

▽視察地
東京都武蔵野市
東京都品川区
「ふりすくーる西五反田」

▽視察テーマ
「幼稚園・保育所の一元化並びに教育問題」

牧丘町・環境省

環境対策（水洗化）と 幼保一元化の取り組みについて

そのためには、市域の生活排水処理計画を明確にし、排水処理の適正化を図るとともに、公共下水道および集落排水事業予定エリアにおいては、環境省所管の浄化槽市町村整備推進事業による合併浄化槽の導入も含めて検討する必要がある。

武蔵野市・品川区

また、「ふりすくーる西五反田」では、区が施設を設置し、指定管理者制度を利用して私立幼稚園園長らが設立したNPO法人に運営を委託している状況を視察した。

当該施設では、安易な長時間保育が、子供と向き合い、産み育てる喜びや苦労という子育ての経験を、親から奪うことのないように十分配慮しつつ、幼稚園教育の経験を活かした子供たちの育つ環境づくりを進めている。

▽視察所見

幼保一元化については、京丹後市は、大半の子供が保育所に通園している状況を踏まえ、幼稚園と保育所の統合など表面的な形にとらわれることなく、武蔵野市や品川区のように、幼稚園・保育所の所管を市長部に統括することなど、抜本的な改革を進めることから着手すべきだと考える。



牧丘町の合併浄化槽

行政視察報告

厚生常任委員会

視察日
(16.10.14)

谷口正博松尾信介
浅田武夫川浪将義
川村博茂小牧耕一
松田成溪松本聖司

御調町

▽視察地
広島県御調町
公立みつぎ病院

▽視察内容

【御調町】※みつぎ町
広島県の東南部に位置し、福山市、尾道市、三原市等と隣接している。



【福祉のまち】
町は、高度経済成長の過程の中で人口減少、高齢化、過疎化等が年々進んできている。

こうした中で、公立みつぎ総合病院やその他保健福祉総合施設の計画的な整備により、保健・医療・福祉の整った「福祉のまち」として全国的に脚光を浴びるなど、安心して住めるまちづくりが一貫して進められてきた。

保健・医療・福祉を 包括的に取り組む町づくり

【公立みつぎ病院】

昭和31年「御調町国保病院」として開設。診療科目16、一般病床192床、療養病床48床、職員数520人、診療圏域人口約7万人の地域の中核的総合病院として第2次及び3次医療を担っている。

また、訪問看護、訪問リハビリを軸とした寝たきりゼロ作戦を展開し、寝たきり老人を3分の1に減少させるなどの実績を持ち、病院内には行政部門である健康管理センターを併設するなど、保健・医療・福祉の統合を果たしている。

▽視察所見

昭和31年の病院設立時に院長として赴任された山口医師（現管理者）は、「地方病院の役割は、包括医療だ」との思いから訪問診療を手がけられた。その進展と相まって、保健福祉総合施設を建設、これらの施設を拠点として在宅ケア・健康づくりなど、様々な寝たきりゼロ作戦を展開された。

結論的には、高齢化率の高い本市においては、市民病院を核とした医療・保健・福祉の連携を図り、包括医療を確立することが、重要かつ急務であると痛感した。

京丹後ならではの オリジナリティーを



丹後町間人
福山幸代(45)

京丹後市が誕生して早10
カ月。あちこちからの声は、
何かと不便になったとか、
今まで利用できたものが利
用できなくなったとか、あ
まりいい反応がないように
思えます。

市制化されたメリットは
どこに? 魅力ある市制と
は?

今年もまた若者たちが進
学、就職に都会へと流出し
ていく季節となり、若者の
定着が難しい状況です。地
場産業であるちりめんの復
興は、誰しも考えることで
すが、それ以前に、生産さ
れた商品や、きものの宣伝
の仕方や仕掛け方を見直し
ていくべきではないでしょ
うか。

たとえば、丹後ならではの
アウトレットの展開、ま
た今流行の若者雑誌への進
出など、現代ファッション

としての「はいから着物」、
といったブームを作ってい
くことだと思えます。それ
にはデザインスクールを誘
致するなど、発掘すべき点
はまだまだあると思えます。
また、このように美しい
日本海を拠点にした観光開
発ですが、まだまだ点でし
かない観光スポットを、い
かにひとつの線として結ん
でいくかが課題だと思いま
す。それには観光をコント
ロールするヘッドオフィス
が必要ではないでしょうか。
このように地場産業、観
光産業、その他丹後の生産
品など、専門部門を作り統
括できるヘッドオフィス、
そこには実践で働いている
民間人を起用し、生の声を
反映できる機会の提供が必
要かと思えます。行政が中
心ではなく、丹後の産業に
第一線上で働いている人々
を中心とした、隣にならえ
ではなく、京丹後ならではの
オリジナリティーのある
思想こそが、魅力あるまち
づくりにつながるのではな
いでしょうか。

お そらく全国でも
珍しい3人姉妹
を中心に、ハウス園芸
に取り組む一家をひよ
こつと訪問しました。

十数年前から、久美
浜町施設園芸組合の仲
間5人で取り組んでき
たハウス園芸、その中
心的存在の松宮久基さ
ん(54)一家は、3人娘
と肝っ玉母さんの女性
たちが支える松宮農園。
トマトハウスが12棟、
久美浜唯一のイチゴハ
ウス3棟、切花15ア
ール、水田50アールと先
進的・挑戦的な多角経
営に取り組んでおられ
ます。

みんなでがんばる!
私もがんばる!

息吹

リーダー訪問

久美浜町金谷
〈松宮農園一家〉



農園に一家総出演?
急ぎよ次女、三女は
配達へ...残念

3人娘が支える ハウスに実る楽園

結婚を機に後継ぎと
して帰郷した長女の
も恵さん(27)、父母や
姉の懸命の姿を見て転
職した次女のいづみさ
ん(24)、短大卒業すぐ
に就農した三女のごづ
みさん(24)。

ウスに専念した長女の
主人の靖さん(28)も、
今は勤めの身ですが、
休日はハウスへ足を向
けられます。

トマトやイチゴの大
好きなひ孫さん2人に
囲まれ、祖母まつるさ
ん(79)も笑顔がたえな
い感謝の毎日かとお察
しいたします。

3人娘は、この道ひ

あとがき

昨年は6町合併で
京丹後市が誕生した
歴史的な年でありま
したが、不況や台風
災害等であつた1年
でもありました。
国・自治体あげて
の行・財政改革が叫
ばれて久しいわけで
すが、改革が単なる
切り捨てでなく、主
人公である市民本位
の真の改革をどう進



めていくか、議会の
役割も問われていま
す。
この市議会、だより
「まほろば」が、改革
の架け橋になるよう
編集委員会一同、今
年も全力投球します。
(広報編集委員会)

とすじの久基さんの厳
しい目、優しい目に見
守られ、今、暖かいハ
ウスでの高床栽培イチ
ゴの摘果作業や、もぎ
たてイチゴをJAや民
宿・旅館への配達など、
忙しく楽しい日々をお
過ごしです。
家族9人が、ひとつ
屋根の下での賑やかな
生活、まさにハウスで
実る楽園です。
松宮3人姉妹に続く、
女性就農者を期待しつ
つ: